

## 平成 30 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：嶋田 緑

実習先：ちひろ内科クリニック

実習期間：2018 年 10 月 17 日（水）～ 12 月 19 日（水）

実習生感想：

今回私は馬町にあるちひろ内科クリニックの土屋知洋先生のもとで 10 週間実習をさせていただきました。先生は毎週水曜と土曜の午後から往診をされているとのことで、私は水曜の午後と一緒に往診についていきました。土屋先生は私が癌について勉強中ということで、できるだけ担癌患者さんを多く見られるよう配慮してくださっていました。

初めのうちは緊張して、患者さん達が受け入れてくれるのか不安でしたが皆さん快く診察や処置をさせてくれました。往診していて感じたことは患者さん達と先生との信頼関係がしっかり築き上げられているということでした。まず訪問した際にインターホンを鳴らすのですが鍵をかけていないことが多く、私達も「こんにちは」と言って部屋に入っていました。その後日常会話をしながら体調について問診したり血圧などのバイタル測定、必要な人は処置を行いました。外来の診察室や病室では患者さん一人一人とゆっくり話す時間はあまりなく、患者さんは話したいことや聞きたいことがあまり話せていないと思います。しかし自宅であれば病院よりもゆっくり話を聞くことができ、患者さんもリラックスした状態で話をしてくれます。例えば化学療法を行っている患者さんは病院では先生の前で元気にふるまっても家に帰ってくると副作用でぐったりしていて、患者さんに対する印象が病院の先生とは違う時がある、と先生が言われていました。患者さんの本当の状態を知りたくても患者さんは我慢していることがあります。私達も把握できていないことがあります。自宅で診察を受けているうちに先生との信頼関係も確立され、患者さんも我慢することなく本当の状態を見せてくれるのかなと思いました。



予防接種

また、今回の実習で往診でも様々な医療行為が行えることに驚きました。私は病院で在宅で過ごす患者さんの退院調整を行うことがあり、CV ポート作成や胃瘻造設などの処置も行ってきました。しかし実際に在宅でそれらがどのように使われているのかなど見たことがありませんでした。IVH 管理、麻薬持続点滴の管理、胃瘻管理等を今回学びました。そしてそれは医療スタッフだけでなく、患者さんやご家族も管理ができるよう指導されていました。また実習中に見ることはできなかつたのですが、担癌患者さんが腹水により腹部膨満感が強く腹水穿刺を予定している方がいました。結局は診察の上穿刺は中止になったようですが、病院と同じように腹水穿刺も行えることに驚きました。自宅でも様々な医療行為が受けられるのであれば、患者さんも安心して自宅で過ごせるということを学びました。



胃瘻交換



CV ポート穿刺

そして今回実習をしていて、先生は患者さんだけでなくそれをサポートするご家族のケアもしっかり行われていると思いました。自宅ではほぼ寝たきりで胃瘻管理を行っている患者さんの往診に何回か行ったのですが、その方は娘さんがほぼ一人で介護されていました。デイケアやリハビリなどのサービスも利用されていますが、一人で介護をすることは想像以上に大変なことと思います。その患者さんの診察と胃瘻交換などの処置を行ったあと、リビングで座って薬の確認などを行うのですがその時にゆっくり会話をしていました。その後帰っている時に先生が、「あの娘さんは一人でずっと見ているんです。以前のお仕事は医療関係だったので慣れているかもしれませんが、仕事もやめてつきっきりで介護されているので、あの時間に話をすることで少しでも気分転換になればと思っているんです。」と言



われました。何気ない会話でしたが、先生のそういった気配りに驚き、またそういうところから信頼関係ができていたのだと思いました。

今回、土屋先生のもとで10週間実習させていただいて、在宅医療について多くのことを学ぶことができました。しかしこの10週間の間に私が往診した患者さんで亡くなられた方が数人いらっしゃいましたがいずれも看取りに立ち会えませんでした。また緊急の対応なども経験することができなかつたので、在宅医療のすべてを学べてはいないと思います。今後在宅医療の必要性はますます高まってきます。そのため病院との連携もより一層大切になってくると思うので、在宅医療についてはもっと学ばないといけないと思いました。また私は2児の母でもあるのですが、先生も子育てをしながら診療をされています。仕事と家庭の両立、働き方についても色々教えていただきとても勉強になりました。最後にご多忙の中、実習をさせていただいた土屋先生はじめ、ちひろ内科クリニックのスタッフの皆さんに感謝申し上げます。



土屋先生とスタッフの皆さん



報告会にて